

（※一部、敬称略）

### ■これまでの経緯 －2005年12月に、教育部会設立準備委員会を開催しました－

2005年12月25日（日）～12月27日（火）、岡山県の長島愛生園にて、市民学会運営委員の金泰九さんと国賠訴訟瀬戸内原告団長・宇佐美治さんの立ち会いのもとで、教育部会設立準備委員会を開催いたしました。

1日目（12月25日）。はじめに、市民学会教育部会の趣旨確認と運営に関する意見交流を行いました。つづいて、実践報告（発表）をもとにして学習会を開きました。報告者は、佐久間建さん（東京都東村山市立野火止小学校・現上越教育大学大学院教科領域教育専攻社会系コース在籍）や土田一憲さん（正則高等学校）などでした。

2日目（12月26日）。午前中は、長島愛生園入所者・近藤宏一さんに、「愛生学園の生活と“青い鳥楽団”そして、わたしのふるさと」と題して講演をしていただきました。午後の第1部は、金泰九さんのご案内で園内フィールドワークを、つづいて歴史資料館責任者・宇佐美治さんのご案内で歴史資料館にて学習会を開催しました。つづく第2部では、長島愛生園入所者で、邑久高校新良田教室1期生のTさんに、「邑久高校新良田教室の生活」と題して講演をしていただきました。

3日目（12月27日）。はじめに、市民学会教育部会の今後の活動について意見交流を行いました。最後は、韓国ソロクト・台湾楽生院訴訟について、金泰九さんや宇佐美治さんからお話をいただきました。

※ なお、この教育部会設立準備委員会（2005年12月25日（日）～12月27日（火）の二日間）の内容は、「[これまでの活動と報告 2（設立準備委員会の内容－詳細－）](#)」をご覧ください。

### ■教育部会設立準備委員会の申し合わせ

#### 1.申し合わせの概略

この部会は、教育者のみならず、「ハンセン病問題と教育」というテーマに関心をもつハンセン病市民学会々員であれば、誰でも参加することができるもので、部会員一人ひとりがハンセン病問題の当事者として主体的に関わることにより運営されます。

運営は「世話人会（2005/12/25現在3名）」が担います。今後は少しずつこの環を広げて行きたいと思っています。まずは、世話人や部会員が中心となり、できるだけ全国どこかのハンセン病療養所を拠点として、会員が最低年に1回は集まって学習会や交流会を実施したいと思っています。そして、そこで明らかになった課題などを部会員全体で共有するための情報発信、また部会員相互の意見交換など、情報の交流を、会員が分担しながら行っていきたいと考えています。

#### 2.参加希望

参加希望の方は学会事務局か、（E-mailをお持ちの方はメールで情報を提供いたしますので）次の世話人のいずれかまでご連絡ください。（お問い合わせも同所へ）

##### 【学会事務局】

遠藤 隆久（熊本学園大学研究室）〒 862-8680 熊本市大江2-5-1

tel: 096-364-8920 fax: 096-372-0702

mail: endoh@kumagaku.ac.jp

【世話人】 ・江連 恭弘（えづれ やすひろ）

E-mail ezu@palette.plala.or.jp

・佐久間 建（さくま けん）

E-mail j175362b@cc.juen.ac.jp

・延 和聰（のぶ かずとし）

E-mail ksy1343@fkym.enjoy.ne.jp

※なおご連絡をいただく際、会の運営上、以下の事項についてもお知らせいただければ幸いです。何卒よろしく願い申し上げます。（いただきました個人情報は、部会の連絡などの趣旨・目的以外に世話人の範囲をこえて開示することはありませんので申し添えます。またお伝えになりたくない事項についてはご相談に応じます。）

- ・お名前（“ふりがな”もお願いします。）
- ・ご所属（ご関係の団体名など。記載なしでも結構です。）
- ・ご住所（郵便の届く宛先です。〒番号もお願いします。）
- ・Fax番号（Eメールアドレスをご記入いただいた場合、記載の必要はありません。）
- ・Eメールアドレス

（経費節減のためできるだけEメールを活用します。お持ちの方はぜひご記入ください。

なお原則としてPCのアドレスでお願いいたします。）

- ・匿名参加ご希望の場合、その旨お書き添えください。